

一般国道49号 平バイパス 二本松工業高等学校による現場見学会

概要

一般国道49号「平バイパス」は、いわき市の交通混雑や国道49号沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス機能強化を目的に、福島県いわき市常磐上矢田町～好間町北好間までのバイパスとして、昭和56年度に事業着手し、平成7年9月に全線2車線で暫定供用しています。平成28年度全線供用に向け、交通渋滞の著しい区間から段階的に4車線化や立体交差点へ整備し、交通混雑の緩和を図っています。

この度、未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解を深めてもらうため、二本松工業高等学校都市システム科1年生の生徒さん37名による現場見学会を開催しました。

一般国道49号 平バイパス 二本松工業高等学校による現場見学会 開催状況

開催日時:平成27年9月14日(月) 10:10～

開催場所:一般国道49号 平バイパス 上荒川トンネル、五郎内トンネル

見学者:福島県立二本松工業高等学校 都市システム科 1年生 37名

引率者 3名 合計40名



▲平バイパスの概要や整備効果の説明



▲上荒川トンネルの説明



▲作業員が装備する安全防具の説明



▲掘削機械の説明



▲濁水処理実験の説明



▲五郎内トンネルの前で記念撮影